

観覧無料

詳細はこちら



戦没郷土の 戦後80年記念事業特別展

宗像市戦後80年記念事業特別展

ふるさと

郷土部隊と
出征兵士の
行方

令和7年

8.2日 → 10.26日

海の道むなかた館
特別展示室ほか

展示構成

- 【第1章】 戦没した宗像人の行方
- 【第2章】 兵隊ニナル
- 【第3章】 戦う大義と心の支え
- 【第4章】 軍旗の下に

イベント

8.10日
(11:00~12:00)

朗読会『つばめの記 戦時下、父子の往復書簡』

9.6日
(13:00~14:30)

特別講演会
『「戦場体験」の記憶をどう受け継ぐか
—ビルマ戦場と拉孟守備隊元兵士の聞き取りを中心に—』
講師/遠藤美幸(神田外語大学講師)

10.19日
(11:00~17:00)

『福岡連隊跡を巡るバスツアー』

【主催】宗像市教育委員会 【後援】西日本新聞社 【協力】宗像市遺族連合会、福津市遺族連合会、陸上自衛隊福岡駐屯地、福岡県、朝倉市、嘉麻市教育委員会、北九州市平和のまちミュージアム、筑前町立大刀洗平和記念館、つばめの記、豊の国宇佐市塾、兵士・庶民の戦争資料館、遠藤美幸(神田外語大学) 【お問い合わせ】Tel:0940-62-2600 〒811-3504 宗像市深田588



海の道むなかた館



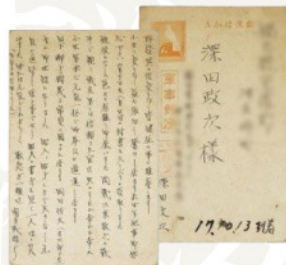
大観衆に見送られ福岡・天神を進む福岡連隊(西日本新聞社『写真集 福岡100年』より)



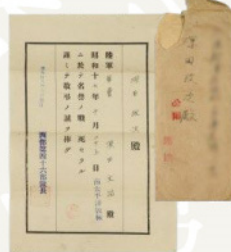
三八式歩兵銃(所蔵:つばめの記)



臨時召集令状
(所蔵:北九州市平和のまちミュージアム)



軍事郵便
(所蔵:つばめの記)



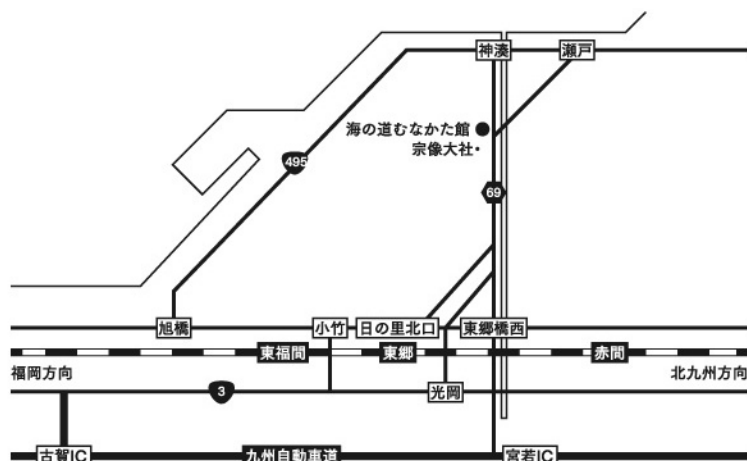
戦死公報
(所蔵:つばめの記)



寄せ書き日の丸
(所蔵:宗像市教育委員会)

近代の日本では、国民皆兵制の下、17～40歳の男性は兵役義務を負いました。そのため、総力戦となったアジア・太平洋戦争では多くの男性が兵士となり、広大な戦線のなかで多数の戦没者を出しました。

本展覧会では、郷土・宗像から出征した兵士が多くの戦域で戦没したことを示すことで、本地域とアジア・太平洋戦争との関わりを明らかにします。そして、宗像を含む福岡地域の郷土部隊である福岡編成の歩兵連隊(福岡連隊)をテーマに、民間人から兵士になる過程や、部隊の象徴である軍旗の下に本戦争の戦場として有名なガダルカナル島やビルマなどに投入された部隊と所属した兵士たちの行方を、地域に残された資料や軍事郵便、旧軍関係資料などから追います。



- 開館時間** 9:00～18:00
- 休館日** 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
- アクセス** 〒811-3504 宗像市深田588
JR東郷駅宗像大社口より西鉄バス「東郷駅前」
→「宗像大社前」下車、徒歩4分
- 駐車場** 71台(無料) **お問合せ** 0940-62-2600